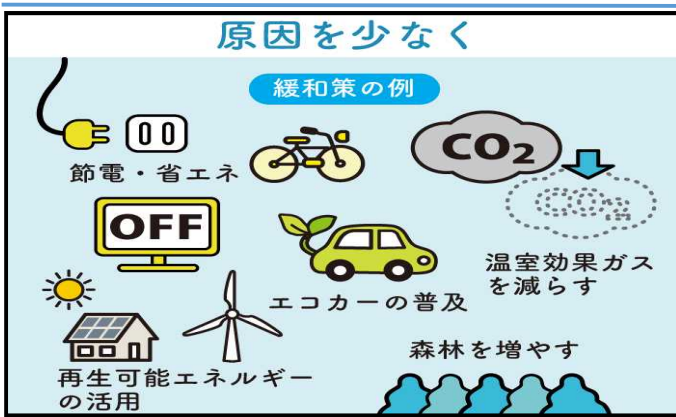


～2つの気候変動対策「緩和」と「適応」に取り組みましょう！～

近年の頻発する大雨や猛暑等、私たちの暮らしの中に顕在化する気候変動影響。これらの影響への対策として、地球温暖化の原因となる温室効果ガス等の削減を目的とした「**緩和策**」がこれまで推奨されてきましたが、これからは緩和策に加え、すでに起こりつつある影響に適応するための「**適応策**」にも取り組む必要があります。

「緩和(Mitigation)」

気候変動による人間社会や自然への影響を避けるため、地球温暖化の原因物質である「**温室効果ガス**」の排出を削減し、気候変動そのものを抑制すること。



⇒緩和策の例：節電・節水
再生可能エネルギーの利用 等

出典：気候変動適応情報プラットフォーム

「適応(Adaptation)」

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対して、その**被害を軽減**する、またはそれらの影響を**有効に活用**することで、よりよい生活ができるようにすること。



⇒適応策の例：こまめな水分補給などの熱中症対策
防災アプリの使用
農業における品種改良 等

実は、気候変動の影響はこんなところにも・・・↓↓

さくらの開花日

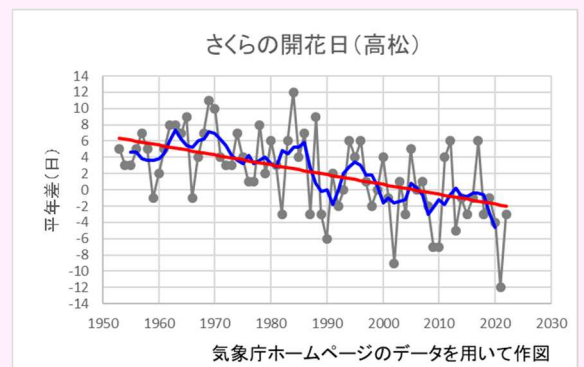
今年(2022年)、高松のさくらの開花日は3月24日で、これは平年より3日早く、前年(2021年)と比べて9日遅い開花となりました。高松におけるさくらの開花日は徐々に早まっており、10年あたり約1.2日の割合となっています。

このように、気候変動は自然にも影響を及ぼしており、こうした影響を少しでも抑えるためにも、私たちの日々の取り組みが重要であると考えられます。



| | 開花日 | 平年比 |
|-------|-------|-------|
| 2019年 | 3月26日 | 1日早い |
| 2020年 | 3月23日 | 4日早い |
| 2021年 | 3月15日 | 12日早い |
| 2022年 | 3月24日 | 3日早い |

*高松地方気象台の生物季節観測データより作成
*平年値は3月27日



— 細線(灰)：平年の開花日からの差
— 太線(青)：平年の開花日からの差の5年移動平均値
— 直線(赤)：長期変化傾向
* 平年は1991～2020年の30年平均

香川県気候変動適応センター

公式HP：https://www.pref.kagawa.lg.jp/kanpokon/tekiou_center/kfvn.html

事務局：香川県環境保健研究センター

TEL：087-825-0400

E-mail：kanpokon@pref.kagawa.lg.jp

